

1. 科目名（単位数）	生涯学習支援論（4単位）	3. 科目番号	SNMP2407 SCMP2407 SBMP2407 SPMP2407
2. 授業担当教員	永澤 義弘		
4. 授業形態	講義、演習（調査研究、グループワーク含む）	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	この科目は、社会教育主事資格取得のための必修科目である。他の必修科目と関連付けて履修すること。		
7. 講義概要	生涯教育・生涯学習は、時代の変革期における一つの挑戦であり、人類の新たな教育・学習を展望したものといえる。本科目では、「生涯学習」の基本的な概念を習得し、とりわけ学習者の特性について把握した後、学習者の主体的な学びの支援方法について解説するとともに成人教育の意義とあり方について理解するよう授業をおこなう。 生涯学習では、学習者が主体的、自律的に学習活動に関わり、学習目標、学習方法を自己決定していく自己主導的学習を促すことが求められる。つまり、参加型学習は一人ひとりの参加意識や学習動機が大切であり、特に施設や学習環境など条件を整備し、少しでも学習目的に近づけるよう支援者の適切な助言を必要とする。専門的教育職員として継続的な学習プログラムの提供に関する基礎的な知識も習得できるように授業を展開していく。		
8. 学習目標	生涯学習に参加する学習者には、個人が学びへの関心を高めることもさることながら、ボランティア活動や地域の趣味、教養に関わる団体等の活動に参加し、自ら学ぶとともに他者の学習を支援するなど地域貢献できる人材として活躍することが期待されている。学習支援は、そうした人材養成に必要な基本的知識や行動力を実践に生かせるよう目標をたて、着実に学習成果があがるよう導いていく手法である。単にノウハウや手段を学ぶだけでなく、受講生一人ひとりが計画的な目標設定のもとキャリア形成に努めていただきたい。 本授業を通じて受講生に求める目標は次の三点である。①生涯学習の原点が理解できるようになること。②参加・体験型の学習手法が実践的に理解できるようになること。③成人教育の理念・方法を身につけること。		
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	授業での討議をふまえて期末に2000字程度で研究成果レポートを提出すること。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 ○清國祐二編「生涯学習支援論」(株)ぎょうせい ○小林繁・兼松泰幸「障害を持つ人の生涯学習支援」旬報社 【参考書】 月刊「社会教育」旬報社		
11. 成績評価の基準と評定の方法	○成績評価の基準 1. 本科目に対する基本的な知識が習得できたかどうか。 2. 他のメンバーと共同してグループワークに取り組むことができたか。 3. 課題を認識しつつ、自分の考え方をもちつことかできたかどうか。 ○評定の方法 1. 授業への取り組み姿勢、グループワークへの参加度、協力度 総合点の 30% 2. 授業内での課題提出（発表資料の作成、コメント用紙の提出） 総合点の 20% 3. 期末試験（期末レポートを含む） 総合点の 50%		
12. 受講生へのメッセージ	次の点に留意して、学びに取り組んでください。 ・授業中の私語、飲食、携帯電話・スマートフォン等の操作は禁止します。 ・授業に集中し、必ず復習すること。 ・社会教育施設が主催する講座などに参加して、社会教育体験をすること。 ・この科目は社会教育主事・社会教育士となるための授業であり、専門職となるための授業です。自分が社会教育主事になったときのことをイメージして学習することを望みます。		
13. オフィスアワー	初回授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション シラバスの説明(授業の進め方「生涯学習支援論」で学ぶこと)	事前学習	シラバスを読んで授業の趣旨を理解する。
		事後学習	この授業のねらいや課題を確認する。
第2回	第1章学習の統制に応じた学習支援Ⅰ・Ⅱ講義と輪読	事前学習	テキストの該当箇所を読む。
		事後学習	復習しノートを整理する。
第3回	第1章学習の統制に応じた学習支援Ⅲ 講義と輪読	事前学習	テキストの該当箇所を読む。
		事後学習	復習しノートを整理する。
第4回	第2章効果的な学習支援Ⅰ・Ⅱ 講義と輪読	事前学習	テキストの該当箇所を読む。
		事後学習	復習しノートを整理する。
第5回	第3章学習プログラムの編成Ⅰ・Ⅱ 講義と輪読	事前学習	テキストの該当箇所を読む。
		事後学習	復習しノートを整理する。
第6回	第4章参加型学習の実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 講義と輪読	事前学習	テキストの該当箇所を読む。
		事後学習	復習しノートを整理する。
第7回	第4章参加型学習の実践Ⅲ 講義と輪読	事前学習	テキストの該当箇所を読む。
		事後学習	復習しノートを整理する。

第 8 回	参加・体験型学習の方法	実習	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 9 回	グループワーク①	講義と実習	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 1 0 回	グループワーク②	講義と実習	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 1 1 回	グループワーク③	講義と実習	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 1 2 回	グループワーク発表資料作成	講義と実習	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 1 3 回	グループワーク発表資料作成	講義と実習	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 1 4 回	成人の学習支援について発表	講義と実習	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 1 5 回	前半のまとめ		事前学習	14 回の学びを整理して授業に臨むこと。
			事後学習	これまでの学びをノートに整理し確認する。
第 1 6 回	障害をもつ人の生涯学習支援 第 1 章 学習文化活動 第 1～6 節	講義と質疑応答	事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 1 7 回	障害をもつ人の生涯学習支援 第 2 章 障害者青年学級 第 1.2.3.4 節 講義と質疑応答		事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 1 8 回	障害をもつ人の生涯学習支援 第 2 章 障害者青年学級 第 5.6.7.8 節 講義と質疑応答		事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 1 9 回	障害をもつ人の生涯学習支援 第 3 章 生活余暇を豊かにする 第 1.2.3 節 講義と質疑応答		事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 2 0 回	障害をもつ人の生涯学習支援 第 3 章 生活余暇を豊かにする 第 4.5.6 節 講義と質疑応答		事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 2 1 回	障害をもつ人の生涯学習支援 第 4 章 差別や偏見、生きづらさと向き合う 第 1.2.3 節 講義と質疑応答		事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 2 2 回	障害をもつ人の生涯学習支援 第 4 章 差別や偏見、生きづらさと向き合う 第 4.5 節 講義と質疑応答		事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 2 3 回	障害をもつ人の生涯学習支援 第 5 章 多様な学びの広がり 第 1～5 節 講義と質疑応答		事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 2 4 回	障害をもつ人の生涯学習支援 第 6 章 排除されてきた人々をめぐる生涯学習支援 講義と質疑応答		事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 2 5 回	グループワーク①	講義と実習	事前学習	研究成果の発表資料を作成する。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 2 6 回	グループワーク②	講義と実習	事前学習	研究成果の発表資料を作成する。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 2 7 回	グループワーク発表資料作成	講義と実習	事前学習	研究成果の発表資料を作成する。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 2 8 回	グループワーク発表資料作成	講義と実習	事前学習	研究成果の発表資料を作成する。
			事後学習	復習しノートを整理する。
第 2 9 回	不利な立場の人々の学習者支援について、学生によるシンポジウム		事前学習	講義要旨の該当箇所を読む。
			事後学習	話し合いのまとめと整理。
第 3 0 回	まとめ		事前学習	後半 14 回の学びを整理して授業に臨むこと。